

小惑星（65635）Hirayamashinの命名と 平山信先生へのご報告

中村 士¹・渡部 潤一²

〈¹大東文化大学東洋研究所・兼任研究員 〒175-0083 東京都板橋区徳丸 2-19-10〉

〈²自然科学研究機構国立天文台天文情報センター 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1〉

e-mail: ¹tsukonk@yahoo.co.jp, ²jun.watanabe@nao.ac.jp

日本人で初めて1900年に小惑星を発見した天文学者平山信の名前が今まで小惑星名につけられていなかったことを、私たちは偶然知った。日本における小惑星天文学の創始者と呼んでもよい平山信の歴史的偉業を改めて称えるために、IAUの小天体命名委員会（Working Group Small Bodies Nomenclature (WGSBN)）に申請し、2025年9月に（65635）Hirayamashinという命名を得ることができた。本稿では、その経緯について紹介する。

2024年の10月上旬、本報告の第一著者へ旧知の米国の天文学者から一通のメールが届いた。ある日本人が発見した小惑星の名前の意味に関する問い合わせだった。シュマデル（L. D. Schmadel）が編纂した『小惑星名辞典』の頁を繰ってみた[1]。番号順に見てゆくと、1918年に小惑星の族を発見した平山清次は（1999）Hirayamaとして載っている。では、日本人として最初の新小惑星を発見した平山信^{*1}の名前は、何番だろうかを探してみたが、不思議なことに見つからない。念のため、平山清次の研究を長年されてきた北大の吉

田省子氏[2, 3]にも確認していただいたが、平山信を示すと思われる小惑星の名前はやはりないとのことだった。また、東京天文台の天体掃索部所属で、IAUの小惑星命名委員会の委員を務めた、故富田弘一郎氏の刊行になる『日本の小惑星命名宝鑑』（1998年）も参照したが[4]、手がかりは得られなかった。

周知のように、第2代の東京天文台長を務めた平山信は、1900年という早い時期に、麻布にあった東京天文台のブラッシャー天体写真機を用いて新たな小惑星を2個発見した^{*2}。しかし、楢

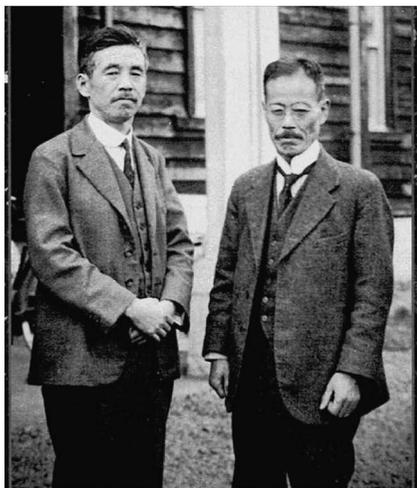
^{*1} 二人の名前の読みであるが、アルファベット表記にすると、平山清次（せいじ）も平山信（しん）もどちらもS. Hirayamaになり、しかも同じ東京天文台教授だったから区別がつかない。そのため、後輩だった清次の方が譲って、英語表記ではKiyotsugu Hirayamaと改めたという話は本などにも載っている。実際、平山清次の名著『小惑星』再版（岩波全書、1949年）の巻末著者名には、清次に「せいじ」とカナがふってあったから、本来の名前の読みはやはり「せいじ」なのだろう。

^{*2} 平山信は、「天体の写真に就いて」（『東洋学芸雑誌』、第80巻、235号、明治34年4月）の記事の末尾に、「一枚の乾板の上に五ツ六ツの小遊星を発見した事がある」と述べている。

この歴史的な発見の乾板は、戦時中の東京天文台本館の火災により焼失したと思われていた。実際、古い乾板類が廃棄される寸前で救出された中にあったブラッシャー天体写真機の乾板のデータは目録化されたが[6]、戦後のものが主であり平山信の乾板は含まれていなかった。ちなみに、これらブラッシャー乾板の目録表の実質的な編纂・制作を行ったのが、著者の一人Hisako Hirose、つまり東京天文台長を務め、日本人のアマチュアによる小惑星大量発見時代の基礎を築いた広瀬秀雄氏のお嬢さん、故・広瀬尚子氏であったことは記しておきたい。その後創設された天文情報センター・アーカイブ室の活動により、旧図書館の中から新たに戦前の古い乾板が発見され、その中に当該の平山による小惑星検出時の乾板も含まれていた[7, 8]。これらは、現在はデジタル化されて広く公開されている[9]。

円軌道が計算できる観測回数に足りなかったため命名権は得られなかった。1個は1902年にニース天文台のシャルロワ (A. H. Charlois) が見つけた小惑星と同定された結果、(498) Tokioと命名

された。他の1個は1912年にハイデルベルグで発見され、最初に観測した平山信に敬意を表して彼に命名権が与えられ、(727) Nipponiaと名づけたという。



星学科の二人の平山教授：平山清次（左）と平山信（右）

図1 東京大学星学科教授の平山信と平山清次。「天文月報」特集平山族100周年、第112巻、第9号（2019年9月）の表紙から引用。

平山信は、フランスで近代天文学を身につけ東京大学星学科の教授と初代東京天文台長になった寺尾寿（ひさし）の最初の学生（1888年卒業）であり、小惑星の族の発見者平山清次より8年先輩にあたる。平山清次は、第1次世界大戦中の1915-17年にアメリカに留学し、イエール大学のブラウン (E.W. Brown) のもとで彼の有名な月運動論の完成を手伝った。その時、ブラウンの示唆を受けて小惑星の天体力学的研究を始めたとされる [5]。

しかし、ずっとそれ以前から平山信による新小惑星の発見について、同僚だった平山清次は当然認識していたはずだから、平山信の発見が平山清次が小惑星に興味を抱く動機の一つになったであろうことは大いに考えられる (図1)。その意味で、平山信は「わが国における小惑星天文学の創

https://minorplanetcenter.net/db_search/show_object?object_id=65635

IAU The International Astronomical Union
Minor Planet Center

OBSERVERS DATA NEW STATUS DOCUME

(65635) Hiramamashin = 1977 EA8 = 1999 RL171
Discovered at Kiso on 1977-03-12 by H. Kosai and K. Hurokawa.
(65635) Hiramamashin

Shin Hirayama (1867–1945) was a Japanese astrophysicist, and became the second director of Tokyo Astronomical Observatory in 1920. Because he found two new asteroids in 1900, later identified as prediscoversy observations of (498) and (727), he is regarded as the Japanese pioneer in asteroid astronomy. [Ref: WGSBN Bull. 5, #20, 6]

図2 小惑星 (65635) Hiramamashin (平山信) の新規登録を告げるIAU小惑星センター (MPC) の回報 (2025年9月)。引用文には、「平山信は日本の天体物理学者で、1920年に第2代の東京天文台長に就任した。彼は1900年に初めて2個の小惑星を発見し、後に (498) と (727) 番と登録されたので、小惑星天文学における日本人のパイオニアとみなすことができる」と書かれている。

始者」と呼ぶにふさわしい。その平山信の名前が、現在までに名づけられた多数の小惑星名の中にみつからないのである。これはゆゆしき問題ではないだろうか^{*3}。

以上のような危惧感を抱いた第一著者中村は、第二著者である国立天文台の渡部に相談した。渡部も、今まで誰もこの異常事態に気づかなかったことに驚き、単に個人的な立場だけでなく、平山信が属した天文台として早急に彼の名前を小惑星に命名したいと考えた。ただ、渡部は公務が多忙だったため、新たに命名可能な小惑星の候補をリストアップするのにかなり時間を要した。特に顕著な業績がある場合は、切りの良い小惑星番号を選ぶので^{*4}、渡部はその交渉も試みたが、現在はその種の配慮はしていないとIAU WGSBNから断られたため、検討の結果、著者二人が候補リストから選んだ小惑星が(65635)番だった。

この小惑星(65635)番は、小惑星センター(Minor Planet Center) 回報(図2)の引用文からわかるように、東京天文台の職員だった香西洋樹氏と故古川麒一郎氏が東京大学木曾観測所の105 cm シュミット望遠鏡を用いて1977年3月12日に発見した新小惑星である。ほかにも候補はあったが、平山信という大先輩と同じ組織に属する観測者が見つけた小惑星に平山信の名前をつけることに、より意義があると私たち著者は判断した選択だった。その命名は、香西氏および故・古川氏の奥様である鈴子氏の許可を得た上で、

IAUへ申請した。予想したより早く2025年9月のMPC回報に発表されたのを見て、私たちはようやく安堵感を覚えた次第である。

最後に、私たち著者の現在の率直な気持ちを述べたい。「平山信先生、日本の小惑星天文学の創始者たる先生のお名前が今まで小惑星名になかったこと、その事実にも誰も気づかなかったことは実に驚くべきこと、恥ずべきことで、深くお詫び申し上げます。あまりにも遅ればせですが、先生の発見年1900年から1世紀と4分の1が経過した2025年にやっと、(65635) Hirayamashinというお名前をつけさせていただきました。IAU WGSBNの最近の方針で、私たちが希望した番号の小惑星を選べなかったのは残念ですが、何とぞご了解をお願い申し上げます。

このメッセージが宇宙の平山信先生に届くことを心より祈るものである。

参考文献

- [1] Schmadel, L. D.(ed.), 2003, Dictionary of Minor Planet Names, 5th revised and enlarged edition, (Springer-Verlag, Berlin)
- [2] 吉田省子, 杉山滋郎, 1997, 科学史研究, 36, 218
- [3] 吉田省子, 2019, 天文月報, 112, 601
- [4] 富田弘一郎, 1998, 日本の小惑星命名宝鑑, 私家版
- [5] [https://astro-dic.jp/hirayama-kiyotsugu/\(2025.12.26\)](https://astro-dic.jp/hirayama-kiyotsugu/(2025.12.26))
- [6] Nakamura, T., et al., 1990, Publ. Natl. Astron. Obs. Japan, 1, 341
- [7] 佐々木五郎他, 2012, 日本天文学会春季年会(京都市, 龍谷大学), Y32a
- [8] 佐々木五郎他, 2013, 国立天文台報, 15(3-4), 37
- [9] [https://prc.nao.ac.jp/prc_arc/brashear/\(2025.12.26\)](https://prc.nao.ac.jp/prc_arc/brashear/(2025.12.26))

^{*3} 日本の天文学者で2000番より若い番号がついているのは、広瀬秀雄(1612) Hirose, 萩原雄祐(1971) Hagihara, 平山清次(1999) Hirayamaだけである。

^{*4} 以前は、著名人の名前がついた番号は切りのよいラウンドナンバーかその前後の番号が多かった。例えば、(1000) Piazzia (ピアジ), (1001) Gaussia (ガウス), (1999) Hirayama (平山清次), (2000) Herschel (ハーシェル), (2001) Einstein (アインシュタイン), (2002) Euler (オイラー), (2999) Dante (ダンテ), (3000) Leonardo (レオナルド・ダ・ヴィンチ), (3001) Michelangelo (ミケランジェロ) などである。



New Naming of Asteroid (65635) Hiramashin as the Founder of Asteroidal Astronomy in Japan

Tsuko NAKAMURA¹ and Junichi WATANABE²

¹Institute for Oriental Studies, Daito-bunka University, 2-19-10 Tokumaru, Itabashi-ku, Tokyo 175-0083, Japan

²National Astronomical Observatory of Japan, 2-21-1 Osawa, Mitaka, Tokyo 181-8588, Japan

Abstract: Prof. Shin Hirayama (1867–1945), the second director of Tokyo Astronomical Observatory, discovered two new asteroids as early as in 1900 which later obtained official numbers as (498) and (727). The authors of this note recently happened to know that his name had not been given to any asteroids before. In order to praise anew his historical achievements as the Japanese pioneer in asteroid astronomy, we proposed his name to an asteroid discovered in 1977 by the TAO staff requesting to Working Group Small Bodies Nomenclature of IAU. As a result, we were announced from MPC the new naming of (65635) Hiramashin in September 2025.